

議会 あれこれ



▲新システムでの委員会風景…予算特別委員会

**志免町議会での
委員会開催は県下最多
委員会、
新システム導入で
年間200万円の削減
これも議会改革の一ツ!**

議会では、議案や町の課題、事務・請願・事件を効率的に審議し、実を挙げるために委員会制度を採用しています。

志免町議会における委員会開催は、年間延べ1

66日(県資料より)、福岡県下町村議会の中でも一番多い開催です。(県下全町村議会の平均開催日数は52日)

それだけ我町議会は、議会活動が活発に展開されているとも言えるのです。

このような町議会では、委員会に於ける議論の記録を、今年度より従来の業者委託から、パソコンでの即時編集システムに変更をいたしました。こ

れによって年間の議事録作成費用が約200万円削減できます。

また、このシステム導入により、委員会での発言・議論がルール化される円滑かつ的確に行われることとなります。

これらのことも議会改革の一環です。

委員会の傍聴もできま

すので多くの方に議会へお出で頂きたいと願っております。

(記・議長・古庄)

※議会へのご意見をお待ちしております。

◆議長へのメール：simegityo@yahoo.co.jp



スポーツ指導員制度の導入

新学習指導要領の中に“部活の意義”が明確に位置づけられた。

これを機に、外部指導者を確保して技術レベルの向上に取り組んで頂きたい。

[吉田議員・平成20年9月定例会での質問]

現在、志免中、東中を合わせて10人の方が指導にあっている。12人分の予算(84万円)を計上しているので、今後とも体育協会などと協議をし、外部指導者の確保に努める。



▲志免中学校の部活のようす

委員会視察



総務文教常任委員会

志免中央小学校の大規模改造工事に伴い、校舎および新築された図書館やコンピュータルーム(41台※各学校とも同数)などの特別教室の活用、利用状況を視察。

不慣れな手つきでパソコンを操作する子どもたち、技術を習得すること共に情報モラル教育もしっかりと行うべきである。

校舎内は、床や壁は従来のコンクリートから木へと変られて、全体的に暖い雰囲気の校舎に生まれ変わっています。

23年度から始まる外国語活動にそなえて、トイレなどの表示板も英語で表示されるなど、先生方の思いを感じることができた。



▲英語で表示されたトイレ(中央小学校)

厚生常任委員会

6月3日に篠栗町の小規模多機能型ホーム「こころの家」を視察。

介護者の都合に合わせて随時訪問や宿泊を組み合わせ、24時間365日、スタッフのサービス提供があり、在宅介護を支援する地域密着型サービスであるが、人件費等がかかり、経営状況は厳しいとのことでした。こういった施設が地域には必要で、もっとふえてほしいと熱心に語られた。

やり方によっては経営も安定できるとのこと。

志免町でも開所されることを期待したい。



▲篠栗町「こころの家」

建設常任委員会

6月17日、3月議会で議決された「焼却場跡地整備委員会設置条例」の制定を受け、跡地の現状について視察を行なった。

今後は、整備委員会のメンバーの決定をうけ、跡地整備の協議がなされることとなっている。

また汚水処理、清掃が全て終了した桜丘終末処理場の視察も合わせて行なった。

5月までに汚泥の処理は終了しているが、施設の解体、整理などを経て整地がなされた後、利用方法などについては、地域の皆さんの意見を聞きながら決定して行くこととなっている。



▲役目を終えた桜丘終末処理場